

## UNOPSアンマン・ハブ事務所代表との協議

2020年6月30日、我が国の平成30年度補正予算により、UNOPSがヨルダンで実施したプロジェクト「王立医療サービスの運営能力強化を通じた医療サービスの改善」が無事完了しました。これを受けて、8月6日、柳大使は、同プロジェクトの完了の報告のため当館を訪問したアクラムUNOPSアンマン・ハブ事務所代表と、現在実施中の案件の進捗状況や今後の新規プロジェクトについて意見交換を行いました。

日本政府は、今年2月、王立医療サービスの能力強化を目指すUNOPSの継続プロジェクトに対する約137万ドルの支援を決定しており、今回の新規プロジェクトでは、昨年に引き続き、王立医療サービス管轄のキング・フセイン医療センターの病棟の改修や医療機材の調達を実施しています。

同UNOPS代表からは、日本とUNOPSとの強いパートナーシップと、シリア危機以降の継続的な日本政府及び日本国民による支援に対し、謝意が表明されるとともに、今年完了したプロジェクトで調達した救急車 11 台が、ヨルダンにおけるコロナウィルス感染防止にかかる医療現場でも活用されているとの説明がありました。

